

発信日：令和5年（2023年）11月7日（火）

発信元：つくば市 生活環境部 環境政策課

■取材依頼 ■周知依頼 □募集告知 □その他

茨城県内初

環境省「脱炭素先行地域」に選定されました

令和5年8月末に環境省「脱炭素先行地域（第4回）」の募集が行われ、共同提案を含め日本全国62の地方公共団体から54件の計画提案が提出されました。本日、つくば市を含む12件の計画提案が脱炭素先行地域（第4回）として選定されました。

【計画名】

脱炭素がもたらすスーパーシティの加速化とスタートアップ創出・企業誘致による中心市街地の活性化

【対象エリア】

つくば中心市街地（TXつくば駅を中心として概ね半径500mの範囲）

【取組の全体像】

既存共同溝（電話・電気・上水道・地域冷暖房等で構成される地下トンネル）を活用したマイクログリッド（エネルギーの地産地消システム）の構築や、地域資源を活用したバイオマス（再生可能な生物由来の有機性資源）発電等により、対象エリアにおいて2030年までに脱炭素化を目指すものです。

脱炭素化によりつくば中心市街地の地域ブランドが向上し、企業誘致や昼間人口の増加による再投資等の好循環を生みだし、つくば市が抱える地域課題（科学技術のビジネス化、若者の地域定着、中心市街地の活性化）の同時解決を目指します。

【今後の予定】

12月に記者会見等で直接ご報告する場を設ける予定です。

【市長コメント】

この度は、つくば市が目指す持続可能なまちづくりのための計画が、環境省の脱炭素先行地域に選ばれたことを大変うれしく思います。脱炭素の取組みは、行政だけでできるものではありません。これからも市民や市内の研究機関・事業者のみなさんとともに脱炭素の視点でも「世界のあしたが見えるまち」に近づけるよう一層努力していきます。

※脱炭素先行地域とは

2050年カーボンニュートラルの達成に向けて、2025年度までに、地域特性等に応じた先行的な取組実施の道筋をつけ、2030年度までに先んじて実行する100地域を選定するもの。農村・漁村・山村、離島、都市部の街区など多様な地域において、地域課題を解決し、住民の暮らしの質の向上を実現しながら脱炭素に向かう取組の方向性を示すもの。

つくば駅周辺における脱炭素先行地域づくり事業の実現

(再エネ100%、スマートモビリティの実装等)

エネルギーの安定供給
(レジリエンス強化)

価格変動の少ない(安価な)
エネルギー供給

ゼロカーボンの
ステータス性

これまでの市の取組

つくば市未来構想
(まち・ひと・しごと創生)

つくば市
スタートアップ戦略

中心市街地まちづくり戦略
(つくば駅周辺基本方針)

つくば駅前での業務系施設(オフィス系施設)の誘導

マンション以外の土地利活用

スタートアップの
創出・市内定着

高レベル人材が望む
大手・外資系企業の
誘致

昼間人口の増加
↓
一般創業の増加

連携

スーパースサイエンスシティ構想



魅力向上による好循環
近隣地区への好影響

【課題解決】
科学技術のビジネス化

【課題解決】
若者の地域定着

【課題解決】
中心市街地の活性化





TXつくば駅を中心とした概ね半径500mの範囲、中心市街地まわりの戦略上のコアエリア

